

### 3 中部第二ブロック

#### （1）地域づくりの目標

##### ① 地域の概況

中部第二ブロックは、城陽・手柄・荒川・高岡・安室・安室東・高岡西校区からなる地域です。

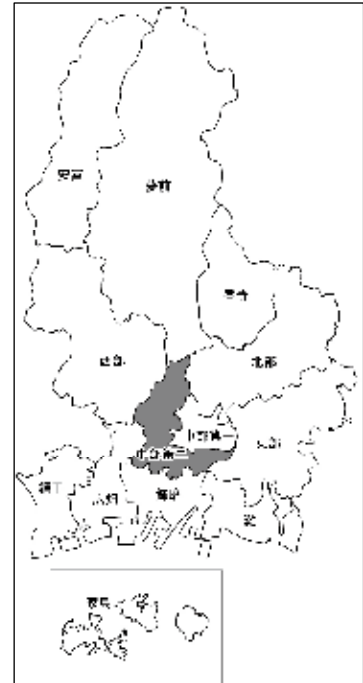
本市の中心に位置する地域であり、ほとんどが市街地地域となっています。

本地域はJR線により南北に分断され、南側の区域では市街化が遅れていましたが、昭和35年の駅南土地区画整理事業の着手に始まる地域内各所での土地区画整理事業により、JR姫路駅南部の市街地発展のための仕掛けづくりが始まりました。

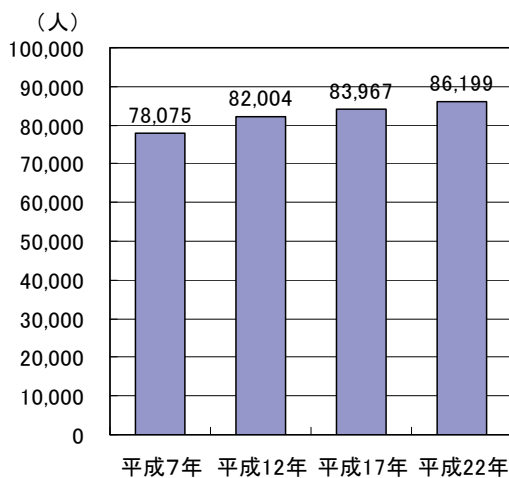
駅南土地区画整理事業に続き、昭和43年からの中部土地区画整理事業により、姫路市の骨格となる駅南大路が開通したほか、昭和55年には市庁舎が移転され、また組合施行による土地区画整理事業により、機能的な市街地の整備が進められてきました。

現在、JR姫路駅周辺地区において進めてきた鉄道高架事業が完了し、土地区画整理事業や関連道路事業による環状道路網等の整備が進む中で、南北市街地の分断が解消されつつあります。

内環状道路（国道2号線、国道線、内環状東線、船場川線）に囲まれた主核については、中心市街地と臨海市街地を結ぶ都市軸を形成するゾーンとして、今後とも都市機能の充実、魅力の向上等が必要となっています。

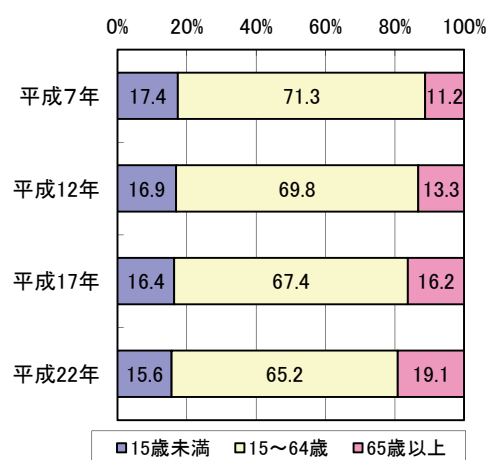


■ 人口の推移



資料：国勢調査

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

② 地域づくりのテーマ

人々が集い賑わいのある生活便利都市

③ 地域づくりの目標

◇ 都心部と臨海部を連携する魅力的な都市軸づくり

行政サービスの集積地や商業業務地としての機能的で高度な土地利用を図るとともに、シンボルロードである駅南大路を骨格として、地域内の様々な資源を連続、連携させた賑わいと魅力ある都市軸の形成を目指します。

◇ 多様なライフスタイルに対応する利便性に優れた生活空間づくり

都心部に集積された都市施設を活用し、幅広い世代が、それぞれのライフスタイルに応じて多様な住まい方を選択できるよう、利便性に優れた生活空間の形成を目指します。

◇ 緑豊かでゆとりと潤いのある住宅市街地づくり

播磨風土記に記された八丈岩山等の丘陵周辺の住宅地を中心に、道路や公園等の都市施設が整い、緑豊かでゆとりと潤いのある住宅市街地の形成を目指します。



区画整理により整備された駅南大路



手柄山中央公園

## （2）地域づくりの方針

### ① 拠点等

#### ア 主核（業務核）

- ・主核は、本市の交流や流通、ビジネスの拠点のみならず、播磨地域の社会、経済活動の核となるもので、内環状道路に囲まれた区域を位置付けます。
- ・本地域にあたる駅南地区は、主に業務核としての性格を持つ拠点として位置付け、中部第一ブロックにあたる駅北地区の商業核と一体となった商業業務地を形成するとともに、駅南大路、運河公園等で魅力ある都市景観の形成を図ります。

#### イ 行政サービスゾーン

- ・市役所周辺及び国、県の行政機関が集積した地区を位置付けます。
- ・駅北地区の商業核と南部副核の山陽飾磨駅周辺地区とのほぼ中間に位置し、都市軸に沿った人の流れの中間地点として、各種行政サービスをはじめとする様々な業務機能等を備えた、人々が集い憩いの場となる魅力的な空間づくりを進めます。

#### ウ 広域防災拠点

- ・手柄山中央公園を位置付けます。
- ・大規模災害時における広域的な救援・救護・復旧活動等のための拠点として、被災地外からの人員、物資を集結、搬送するための設備や緊急情報の通信施設等の整備を図ります。

#### エ 歴史街道軸

- ・本地域には、世界文化遺産姫路城を中心に東西に延びる西国街道、都市軸を南北に縦断する飾磨街道等が通っています。これらの古道を歴史街道軸として位置付け、亀山本徳寺、荒川神社、高岳神社等の史跡など、地域に散在する歴史文化遺産を散策、回遊できる歴史・文化ネットワークの形成を図ります。

### ② 土地利用

#### ア 商業系

- ・駅南大路沿道では、都心部にふさわしい高度な土地利用を促進し、金融機関、事務所等の業務施設の集積を図ります。また、JR御着駅～姫路駅間及びJR姫路駅～英賀保駅間での新駅の設置にあわせ、駅前にふさわしい土地利用を誘導します。
- ・国道線（国道2号）沿道の商業業務地では、広域交通の利便性を生かした沿道施設等を誘導します。

#### イ 工業系

- ・西延末等の既存の内陸工業地では、引き続き工業地としての土地利用を図ります。

## ウ 住宅系

- ・姫路駅南西地区及び阿保地区での土地区画整理事業を推進するとともに、これらの地区では、適切な土地利用の誘導を通じて職住近接型の複合住宅地の形成を図ります。
- ・一般住宅地及び専用住宅地では、道路等の基盤整備及び適切な土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地の形成を図ります。また、八丈岩山等の丘陵の麓に位置する住宅地では、自然環境と調和した低層住宅地の形成を図ります。
- ・英賀保駅周辺土地区画整理事業を推進し、都市施設が整った低層住宅地の形成を図ります。

## エ 保全系

- ・八丈岩山や蛤山等の市街地に近接する独立丘陵は、良好な都市環境や都市景観の形成はもとより、歴史的にも重要な緑として保全を図ります。

## ③ 都市施設

### ア 交通施設

#### ア) 公共交通

- ・姫路駅周辺においては、南駅前広場の再整備、駐車場や駐輪場の適正配置等による交通結節機能の強化を図ります。
- ・駅間距離の長いJR山陽本線の御着駅～姫路駅間及び姫路駅～英賀保駅間において新駅の設置を促進し、鉄道へのアクセス性の向上を図ります。また、新駅の設置にあわせて、駅前広場やアクセス道路の整備を推進します。
- ・書写付近～姫路駅間の路線バスについては、バス優先レーンの設置や公共車両優先システムの導入等により定時性、速達性を高めます。また、運行本数の多いバス路線の停留所付近にサイクルアンドライド用駐輪場を整備し、利便性の向上を図ります。

#### イ) 道路

- ・内環状道路、中環状道路（国道2号線、城北線、大日線、中央南北幹線）及び外環状道路（白国線、夢前川左岸線など）等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。
- ・JR姫路駅を中心とする南北交通の円滑化と南北市街地の一体化を図るため、中環状道路、内環状道路、さらには内々環状道路の整備を推進します。

#### ウ) 自転車利用環境

- ・環境負荷の小さい交通手段等として自転車の利用を促進するため、延末線における自転車レーンの整備を推進するとともに、歩行者と自転車が共存した安全で快適に通行できる空間の確保を図ります。

#### イ 公園・緑地

- ・手柄山中央公園については、都心近郊にある緑とスポーツの拠点として利用環境の向

- 上を図るとともに、広域防災拠点として防災機能の向上を図ります。また、文化センターの機能移転を踏まえ、手柄山中央公園のあり方と施設の再配置の検討を行います。
- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。また、英賀保駅周辺地区や阿保地区の土地区画整理事業の進展にあわせて、身近に利用できる都市公園の整備を推進します。

#### ウ 下水道・河川

- ・老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図るとともに、英賀保駅周辺地区や阿保地区等の土地区画整理地内では、事業の進展にあわせて未整備区域の解消を図ります。
- ・都市化の進展に伴う雨水流出量の増大と集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、大井川の改修促進とあわせて、計画的な浸水対策を進めます。また、都市計画施設である船場川の改修を促進します。

#### エ その他

- ・施設の老朽化が進んでいる中央卸売市場については、適地への移転又は建替え等を推進し、流通施設の整備拡充等による生鮮食料品の安定供給を図ります。

### ④ 防災

- ・手柄山中央公園については、都心近郊にある緑とスポーツの拠点として利用環境の向上を図るとともに、広域防災拠点として防災機能の向上を図ります。
- ・防災中枢拠点として姫路市防災センターと市役所を、地域防災拠点として高丘中学校、安室中学校、運河公園を配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・市街地における面的な不燃化、難燃化を促進するため、防火地域・準防火地域制度の活用を図ります。
- ・延焼の防止に効果のある主要な道路、河川等の整備や緑地の保全、宅地の生垣化を促進します。

### ⑤ 景観

- ・J R 姫路駅や市役所周辺、都市景観形成地区である駅南大路沿道を中心に、姫路の南玄関にふさわしい緑豊かな都市空間の創出を図ります。また、駅南大路沿道の商業・業務施設、運河公園、飾磨街道沿いの歴史文化遺産など、様々な資源が連続、連携した魅力的な都市軸の形成を図ります。



凡		例			
土地 利用		都 市 施 設			
	拠点商業業務地		自動車専用道路		主要公園・緑地・墓園
	商業業務地		幹線道路（環状）		歴史街道軸
	工業地		幹線道路（放射）		J R 線
	複合住宅地		幹線道路（その他）		山陽電鉄
	一般住宅地		補助幹線道路		一級・二級河川
	専用住宅地		幹線道路（環状）		水辺
	農地・集落地		J R 線		自転車レーン等整備路線
	山地・丘陵		山陽電鉄		

■ 中部第二ブロックの将来像